

若いなかま

若いなかま No.199

2017(平成29)年 7月15日 発行

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議

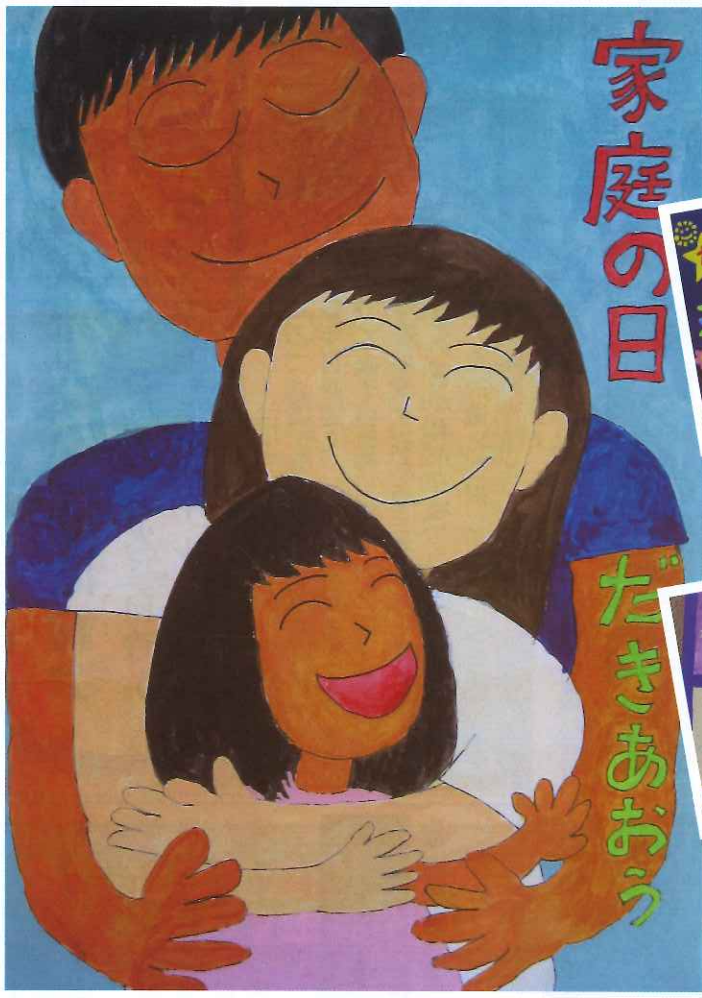
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号

吉塚合同庁舎6F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail : net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ : http://www.fayd.jp/



平成28年度「家庭の日」「オアシス運動」ポスターの部
最優秀作品 鞍手町立剣北小学校3年 貝崎 ひなた



優秀賞 浅木小1年
足立 龍哉



優秀賞 浅木小4年
足立 美月



優秀賞 島門小6年
太田 遙音



優秀賞 荒木中1年
中島 明音



優秀賞 河東中2年
松本 愛利香

目次

| | |
|--------------|---|
| 平成29年度定時総会開催 | 2 |
| 青少年育成活動で表彰 | 3 |
| 永年賛助会員に感謝状贈呈 | 4 |
| 平成29年度事業計画 | 5 |

| | |
|--------------------------|---|
| 特集「人形浄瑠璃クラブ」 | 6 |
| 地域の話(香春町・北九州市) | 7 |
| 青少年の健全育成を考える 「青少年育成考」 | 8 |
| 事務局だより | 8 |

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。
(昭和45年 社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)

平成29年度

公益社団法人

福岡県青少年育成県民会議定時総会

と き 平成29年5月30日(火) 14時
と ころ 福岡リーセントホテル

(公社)福岡県青少年育成県民会議の定時総会が開催され、昨年度の総括と本年度の方針が審議され、承認された。当日は、江口勝福岡県副知事や川端耕一福岡県議会文教委員長等の来賓も出席された。また、総会に先立ち、長年の青少年健全育成活動に対して表彰状が贈呈され、永年賛助会員に対しても感謝状が贈られた。

「青少年の置かれた立場」「社会が青少年に求める姿」を的確に把握して

公益社団法人 福岡県青少年育成県民会議

会長 右田 喜章



福岡県が3月に「青少年の健全育成に関する県民意識等調査報告書」を発表した。調査結果から青少年の健全育成には息の長い取り組みが必要であることを実感する

ると共に地道ではあるが着実に活動の実績を積み重ねていくことが何より重要。また、事業を進めるに際しては、青少年の現状をしっかり認識しておくことも極めて大切である。県民会議は、新たに51年目の取り組みを始め

るところである。加えて公益社団法人へ移行して5年目を迎え、その使命はますます大きくなって来ている。「次世代を担う健やかな青少年を育成するため、その時代その時代の「青少年の置かれた立場」「社会が青少年に求める姿」を的確に把握して、市町村民会議や青少年団体の皆様と一緒に、この運動を進めて参りたい」と挨拶した。

夢を抱き、将来に向かってはばたける人材の育成を

福岡県副知事 江口 勝



少子高齢化や地域コミュニティの希薄化などにより、子ども同士が切磋琢磨することや、年齢の異なる仲間と交流する機会が減少している。また、情報化の進展

によりインターネットに接続できるスマートフォンやゲーム機などが子ども達にも普及し、野外で遊び、自然を体感する機会が減少していると言われている。そのような中、県民会議の皆様が取り組んでおられる、年齢に関係なく子ども達が対局し合う「福岡県青少年囲碁大会」や大自然を体感できる「少年の野外学習事業」などの活動は、子ども達が心

身共に健やかに成長し、豊かな人間性やチャレンジ精神を育むかけがえのない機会となっている。子ども達は社会の宝、我々の未来そのもの。家庭、学校、地域、行政、それぞれが責任を果たし、連携しながら子ども達の無限の可能性を引き出し、夢を抱き、将来に向かってはばたける人材を育てていきたいと考えている、と挨拶した。

次代を担う子ども達が健やかに成長することは県民全ての願い

福岡県議会議長代理

文教委員会委員長 川端 耕一



近年、少子化や核家族化の進行、地域が担ってきた子育て支援機能の低下などが指摘されており、子ども達を取り巻く環境は大きく変化している。この様な中、

県民会議では「少年の主張福岡県大会」や「少年の野外学習」など、子ども達にとって豊かな心や人間性、社会性を培うことが出来るすばらしい取組みが実施されている。また「大人が変われば、子どもも変わる」のテーマのもと、地域で活動する指導者の養成や親子教室の開催、家庭の日・オアシス運動の推進等にも取り組んで頂いており、これらの活動は、今後益々重要になっていくものと確信している。次代を担う子ども達が健やかに成長することは県民全ての願い。県議会としても、地域の未来を担う子ども達の健全な育成に向け、県行政をはじめ関係団体の皆様とともに、しっかりと取り組んで参る所存です、と挨拶した。

TENJIN 16 SKYHALL 天神スカイホール

福岡・天神の多目的ホールとして「心からのおもてなし」を提供いたします。
講演会、シンポジウム、研修会、各種パーティー、同窓会、記念行事など
幅広くご利用いただけます。お気軽にご相談下さい。





個人の部

未次 威生氏 古賀市 (11年)
平成18年から古賀市青少年育成会議副会長として青少年育成・非行防止活動に情熱をもって活動。平成25年から市民会議の会長を務めている。

帆足 徳男氏 小郡市 (10年)
平成16年から小郡市青少年育成市民会議事務局員、事務局長、理事として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱をもって活動している。また花立区区長として環境美化、公園花壇運動にも熱心に取り組んでいる。

高浪 藏氏 小郡市 (31年)
昭和61年から小郡市警察補導員として、平成20年から27年まで小郡市青少年育成市民会議理事として青少年育成、非行防止活動に深い理解と熱意をもって活動。また、子どもたちの見守りやジュニアリーダー研修にも指導的役割を担っている。

毎年(公社)青少年育成県民会議の定時総会で功績のあった個人・団体に對して表彰を行っている。今年には14個人と8団体に表彰状と記念品が贈られた。また20年以上の永年賛助会員3個人と10年以上の特別賛助会員2社と3個人に感謝状が贈られた。(氏名・地域・活動年数)

陰山 博氏 岡垣町 (13年)
平成15年から岡垣町戸切校区育成会議会長、顧問、通学合宿「夢の体験塾」副塾長として平成15年から19年迄同町民会議の副会長として青少年育成・非行防止活動を担っている。町民会議や夢の体験塾の発展に寄与している。

鈴木 光広氏 大任町 (10年)
平成19年から大任町青少年育成町民会議役員として青少年育成・非行防止活動に情熱をもって活動し、町民会議の発展に寄与されている。さらに、小学校のPTA会長や地区の子ども育成会会長も務め、健全育成に努めている。

田代 敦子氏 行橋市 (19年)
平成10年から行橋市青少年育成市民会議の委員として青少年育成・非行防止活



個人表彰を受けた皆様

動に貢献。また仲津校区婦人会会長として登下校中の子どもたちの見守り活動や夜間パトロールも長年にわたり積極的にを行っている。

池田 弘千氏 行橋市 (26年)
平成3年から京都保護区保護司として平成12年度からは副会長、平成17年からは会長として青少年育成・非行防止活動に貢献している。平成12年から26年までは、行橋市青少年育成市民会議の委員・役員として市民会議の発展に貢献し、郡市少年の主張弁論大会の審査委員長を長年務めている。

末松 友子氏 行橋市 (12年)
平成17年から行橋市青少年育成市民会議委員として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱をもって活動している。昭和55年から平成11年まで子ども会育成会世話役としてラジオ体操、夏休みキャンプの活動に積極的に取り組んでいる。

田尻 正範氏 うきは市 (11年)
平成17年からうきは市青少年育成市民会議理事・会長として青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱をもって活動し、その熱意と積極性は高い評価を受けている。

中川 隆氏 太宰府市 (34年)
平成19年から太宰府市青少年育成市民会議の副会長として青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動している。さらに、昭和58年から太宰府市少年の船に医師として乗船し、永年にわたり、団員の健康管理や後進への指導に

当たっている。

白水 福美氏 太宰府市 (18年)
平成11年から太宰府市子ども会育成会連合会運営委員・書記・副会長として青少年の育成・非行防止活動に深い理解と情熱をもって活動しその熱意と積極性は関係者から高い評価を受けている。

家入 修一氏 宇美町 (17年)
平成11年から宇美町青少年指導員会会長として、青少年育成・非行防止活動に取り組んでいる。地域での活動に差があつた青少年指導員を取りまとめ粕屋警察署、学校、PTAとのネットワークづくりにも尽力し健全な青少年育成に多大な貢献をしている。



右田喜章会長から表彰状を手渡される受賞者

川上 良明氏 宇美町 (12年)
平成16年から宇美町子ども会育成会連絡協議会体育委員、会長として青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱をもって活動し、その熱意と積極性は高く評価されている。

本松 和洋氏 飯塚市 (19年)

平成10年に教職員を退職後、地域の方々と青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱をもって頼田小・中学校の児童生徒の「朝の登校指導」や「あいさつ運動」を長年に渡り継続し、その熱意と指導力は関係者から高い評価を受けている。また地域の自治会役員としても、青少年育成に熱心に取り組んでいる。

団体の部

今年度、団体表彰された8団体を紹介する。 ※(団体名 地域 活動年数)



団体部門で表彰された方々

★ 横武女性の会

豊前市 (15年)

地域の少子高齢化・過疎化が進む中、学校や青少年健全育成団体等と協力しながら、地域の見守り・ふれあい活動(餅つき・おやつ作り)、小学校行事への協力参加(運動会、バザーなど)に積極的に活動し、子どもたちとの交流も深めて

いる。その活動は、希薄化しつつある人とのつながりを深め、地域力の回復に大いに貢献している。

★ 津屋崎ジュニアイーグルス

福津市 (35年)

小学生を対象に軟式少年野球チームとして発足し、青少年の自立や自主性を重視しながら、野球を通して青少年の健全育成や連帯感、人と人とのつながりを指導するなど、地元の少年らに多大な影響を与えている。チーム員は成人後も同団体の指導者として加わり、継続して地元の青少年健全育成の中核となるとともに、地域住民や関係機関とのネットワークを築き、地域住民からの信頼も厚い。

★ 東峰村青年団

東峰村 (67年)

地域に根差したボランティア活動、子ども達への文化の伝承に努め、住みよい地域づくりを目指し、村の様々の行事に協力するとともに、夏祭りにおける「やまびこ太鼓」や親子料理教室への支援など、常に地域住民と一体となった青少年の健全育成に努めている。

★ 門司少年ソフトボール連盟

北九州市 (41年)

ソフトボールや地域活動を通して、青少年に対する健全育成の精神や模範意識の向上に努め、礼儀についても厳しく指導され、ここで育った青少年が、他の団体で活動する際にリーダーシップを発揮している。非行を起こすことが無いように、ソフトボール以外でも地域と一体になった活動を行い、青少年を見守ってお

り、地域住民からは、元氣よく挨拶する姿に元気づけられ、地元行事に子どもたちが参加し地域活性化に繋がっているという声も聞かれている。

★ 福岡県立浮羽工業高等学校自動車研究部

久留米市 (12年)

不要となった車椅子を回収し、整備・修繕のうえ障害者・高齢者入所施設などに寄贈する社会貢献活動「空飛ぶ車椅子活動」を長年行っている。また東日本大震災、熊本地震では、生徒自ら現地へ赴き、施設において車椅子の修繕作業を行うなど復興支援活動を行った。さらに、国内に留まらず、韓国、台湾、タイへ赴き、同活動をグローバルに展開している。

★ 田主丸町老人クラブ連合会シルバー保安官子供見守り隊

久留米市 (13年)

65歳以上の者で構成され、地域社会に恩返しするという活動方針で「シルバー保安官」として見守り活動を続け、定期的に「見守りサポーター養成講座」を開設するなど、会員の意識向上を図り、その活動が地域から認められ大きな支持を得ると共に、子どもたちからも「シルバー保安官」として親しまれている。また、定期的に警察・学校とも情報交換を行い、要望に応じた柔軟な見守りを展開している。

★ うきは市老人クラブ連合会シルバー保安官子供見守り隊

うきは市 (16年)

地域住民からの要望と老人クラブ会員の「地元の子どもたちは自分たちで守る」

という熱い志により設立された子ども見守り活動団体であり、小・中学校の連携を図り、学校の要望に基づく見守り活動を行っている。積極的なあいさつ運動はもちろんのこと、小学校周辺における見守り活動や交通安全指導、交差点付近の清掃などの環境美化活動も行っている。

★ 大牟田市立橋中学校生徒会

大牟田市 (13年)

空き缶のプルタブを回収し、換金して車椅子を寄贈する活動を行っている。吉野園養護老人ホームをはじめとして、現在までに10台寄贈している。車椅子一台寄贈するのにプルタブ約460kg必要であるが、全校生徒で協力してこの活動を13年間続けており、代々受け継がれている。

永年賛助会員に感謝状

20年賛助会員の部

◇伊折千秋様 ◇早川良子様

10年賛助会員の部

◇(株)西日本新聞印刷様

◇大澤良一様 ◇堀口國勝様

10年特別賛助会員の部

◇日本映像ソフト制作・販売倫理機構九州支部様

◇(一社)全日本アミューズメント施設業者協会連合会福岡県本部様



平成 29 年度事業計画

福岡県青少年育成県民会議は設立 50 周年を迎えたところです。国際的な視野を持って地域で活躍する若者を「ふくおか未来人財」として育成する福岡県と連携し、新たな決意のもと、総合的な県民運動を積極的に展開します。平成 29 年度の主な事業は、下記のとおりです。

青少年関係団体等の活動支援連携事業等

- 九州各青少年育成県民会議九州地区会議
平成 29 年 10 月予定
- 中央研修会、全国県民会議連合總會
平成 29 年 11 月予定
- 市町村民会議・青少年育成運動推進指導員・青少年育成指導者等合同研修会
平成 30 年 3 月予定

青少年健全育成事業

- 少年の野外学習事業
平成 29 年 8 月 2 日(水)～6 日(日)
熊本県上天草市
- 青少年囲碁交流事業
福岡県大会 平成 29 年 8 月 20 日(日) 福岡市
中国江蘇省交流大会 江蘇省
- 少年の主張福岡県大会
平成 29 年 9 月 2 日(土)
北九州市 ウェルとばた大ホール
- 福岡県民さわやかマラソン大会
平成 29 年 11 月 26 日(日)
福岡市 海の中道海浜公園
- 青少年育成指導者研修会
平成 29 年 12 月上旬 福岡市



健全な家庭づくり推進事業

- 「家庭の日」「オアシス運動」の推進
作文、ポスターの募集 平成 29 年 8 月 1 日～9 月 15 日
優秀作品の表彰・展示（アクロス福岡、県庁ロビー）
- 乳幼児教育研修会
平成 30 年 2 月 9 日(金)



ココロがある。コタエがある。

誠実なココロで人と向き合い、ベストなコタエをご提案する。
それが、創立以来ずっと変わらない西日本シティ銀行の仕事です。
お客さまの人生のパートナーとして、企業の皆さまの事業のサポーターとして。
「九州でいちばん頼れる銀行」を目指し、西日本シティ銀行は挑戦し続けます。



特集 伝統芸能の継承

八女市立黒木小学校 人形浄瑠璃クラブ



姿勢を正して語りの練習

前号に続き、福岡県内で子どもたちと共に伝統芸能の継承に取り組んでいる団体を紹介します。地域の伝統文化を継承していくには保存団体や関係機関との関わりが大きな役割を果たします。今号では、県下でも稀な、小学校のクラブ活動で地域に伝わる人形浄瑠璃の継承に取り組んでいる八女市立黒木小学校を訪問しました。

◆発祥は地域集落の余興を 楽しむ「座」から

明治5年頃、八女市黒木町笠原地区鰯八（わにばち）集落に祝いの座の余興から始まったとされる人形浄瑠璃は、県の無形民俗文化財に指定されています。もともとの起こりは、瓢箪や徳利を人形に見立てて操ったこと由来。次第に人形を買い入れ、外題（げだい）を増やし、本格的な人形浄瑠璃へと発展しました。現在、旭座人形芝居保存会と黒木小学校人形浄瑠璃クラブの児童が、保存と継承のため、日々練習に取り組んでいます。



◆黒木小学校 創立は明治八年

福岡市内から車で約1時間半、黒木小学校は、樹齢60年の国指定天然記念物である大藤棚の近くにありました。児童数は13クラス282名。人形浄瑠璃クラブは、昭和61年から、旭座人形芝居保存会の協力で笠原地区にあった笠原小学校

の児童のみで継承されていたものを、平成22年に八女4町村が合併、4つの小学校の統合をきっかけに黒木小学校に引き継がれました。校長の東谷研先生より「現在バス10台が各方面の児童の登下校送迎をするほど校区は広範囲です。また、地域の伝統芸能を学校で継承していくにあたっては、『保護者、旭座人形芝居保存会の方々、クラブ活動で人形の操りや語りを直接指導している先生方の努力があったこそ』『故郷に誇りを持って、地域を大切に育てる子どもを育成していくことがこの学校の教育方針』と終始穏やかな中にも力強いお話がありました。



一体の人形を3人で操る

◆人形の「操り」と浄瑠璃の「語り」

人形浄瑠璃クラブの部員は、4年生から6年生まで20名余り。訪問の日、練習していた外題は、「傾城阿波鳴門」巡礼歌の段。人形の「操り（あやつり）」、写真中、指導は合原幸晴先生、「語り」、写真上、指導は信國おる先生。伴奏楽器の三味線からなる30分ほどの内容です。

演目は毎年同じ。部員は人形の操りと語りのどちらかを自分で選び、本公演に向けて練習に励みます。上級生から役どころを引き継ぐ時、浄瑠璃本と見台を下級生に渡す引き継ぎ式が行われるそうです。練習をし



ビデオでふりかえりながら稽古

取材を終え、練習場を後にしても、子どもたちの大きな声がいっまでも校内に響いていました。

◆笠原地区にある「旭座」へ



訪問の最後に、黒木小学校に同行してくださった八女市文化振興課の大島真一郎氏と平成11年に文楽専用施設として落成した「旭座」へ。旭座人形芝居保存会会長の石崎辰之助氏の案内で、江戸時代より伝わる人形や頭（かしら）60体余りが収蔵されている収蔵庫を見学しました。人形の色あせた古い着物を見た時、茶畑が続く山あいの集落に根付いた文化を守り抜いた人々の底力を、目の当たりにした思いでした。大島氏の「地域や保存会が守り伝えた、その灯を消してはならない」との言葉には、地域の人と共に、さらに次代を担う子どもたちにこそ、繋いでいかねばとの決意が込められているように思いました。

地域のわだい

各市町村民会議等の活動を紹介するコーナーです。
今回は、香春町・北九州市の取組みを紹介します。

大人とこどもの バイオリンコンサート

香春町青少年育成町民会議
地域部会・探銅所部会

香春町青少年育成町民会議では、主催事業とは別に「地域の子どもは、地域で育てる」の言葉の元、小学校区別に組織している「地域部会」があります。地域部会は4つ組織しており、それぞれ土地柄に合った独自の活動を行なっています。



今回は、その内の1つ探銅所部会の活動をご紹介します。平成26年に第1回、今年で4回目を迎える『大人とこどものバイオリンコンサート』を開催しています。昨年度は、プロバイオリニストの宮原絵里さん・プロピアニストの馬場英子さんによる臨場感ある生演奏でした。その演奏は、子ども向けに分かりやすく工夫された童話歌唱、音楽紙芝居など、幅広い世代が心豊かな時間を過ごすことができました。

また、その他の活動としては、一昨年に開業100周年を迎えた香春町の文化財である『JR探銅所駅』の清掃活動なども行なっています。これからも香春町青少年育成町民会議は、青少年の健全育成・非行防止に取り組んでいきたいと思っています。

チャレンジ駅伝大会

北九州市青少年育成市民会議

北九州市青少年育成市民会議では、平成二十七年より、小学生チャレンジ駅伝大会を開催しています。二十八年度は小倉競馬場の全面協力を得て、パドックを含む約一キロの競馬場内特設周回コースでの開催となりました。合計三十二チーム、約一七〇名の参加があり、多くの来場者の熱い応援が響きました。

今回は思い切つてタイム計測を廃止し、子ども同士の親睦を深めることと、冬場の体力向上や思い出作りを目標に実施しました。

環境未来都市北九州らしく、参加料はペットボトルキャップ五十個以上とし、市の環境マスケット、ていたん・ブラックていたんも応援に駆けつけました。早くも、また来年も！という声も多かったようです。



第19回福岡県青少年囲碁大会及び 2017年福岡県民さわやかマラソン大会参加者募集!!

毎年、青少年の健全育成の取り組みとして、青少年囲碁大会、県民さわやかマラソン大会を開催しています。囲碁には「集中力が身に付く」「想像力を広げ発想が豊かになる」等の効果が期待できると言われています。また、県民マラソンは就学前や小学生・中学生等が多く参加し走る距離で自分の力を試すことができ、親子での参加も出来ます。初めての方、経験ある方関係なく、どなたでも参加できます。楽しく参加してみませんか。沢山の参加者をお持ちしています。

○第19回福岡県青少年囲碁大会

- ・とき 平成29年8月20日(日) 9時30分開会
- ・ところ 福岡県吉塚合同庁舎8F(福岡市博多区)
- ・募集期間 6月26日(月)～7月31日(月)
- ・問い合わせ 実行委員会TEL:092-643-6001

○2017福岡県民さわやかマラソン大会

- ・とき 平成29年11月26日(日) 10時開会
- ・ところ 海の中道海浜公園(福岡市東区)
- ・募集期間 8月21日(月)～10月13日(金)(必着)
- ・問い合わせ 実行委員会TEL:092-643-6001

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

福岡銀行



事務局だより

主な行事(29年3月23日～7月15日)

3月 27日(月) 広報部会
29日(水) マラソン大会実行委員会

4月 6日(木) 家庭部会(以降、5/30、
18日(火) 青連協定例常任委員会
(以降、5/12、6/13、7/11)

19日(水) 県民会議監査
20日(木) 第1回総務部会
23日(日) 青連協第2回ウォークラリー部会
(以降、6/10、7/8)

24日(月) 第1回健全育成部会
25日(火) 第1回理事部会

5月 9日(火) 第1回広報部会
(以降、6/13、26、7/11)
15日(月) マラソン大会事務局会議
(以降、6/7、7/11)
17日(水) 青連協第3回式典部会
27日(土) 青連協委員会総会
30日(火) 定時総会

6月 1日(木) 第1回青少年開基大会
11日(土) 青年ボランティア研修会
(運営委員会)

7月 9日(木) 「育成キャンプ」スタッフ
12日(水) 研修会及び事前説明会
(以降、7/26)

7月 9日(木) 「育成キャンプ」スタッフ
12日(水) 研修会及び事前説明会
(以降、7/26)

赤い羽根共同募金



高齢者、障害者、子どもたちへの地域の福祉活動を支援します。災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営にも役立ちます。

この広報紙は、共同募金の配分を受けて発行しています。

青少年育成 考

「お年寄りや子どもをつなぐ 地域活動を」



公益社団法人 福岡県青少年育成県民会議
理事 松井 政信

少年高齢化の進展やコミュニティ意識の低下から、自治会加入の世帯が減少しているほか、役員のなり手不足は、わが自治会においても同様です。今年3月、地元自治会において公民館と自治会の協同事業であります「河川公園の往復6キロのウォーキング大会」を開催しました。幼児から80歳の高齢の方たち約70名が参加しこち良い汗を流しました。途中、河川の歩道でありますので、ビニール袋を下げ、ゴミを拾ったり、つくしをとったり、ふれあつて楽しみました。私と役員は途中に、横断するところが数ヶ所ありますので横断の安全を確保するための交通整理や、ゴミの回収などをしながら区民の触れ合う姿に喜びを感じました。いつ

も耳にする言葉ですが、学校・家庭・地域社会の連携であり入ることはできないし、今は個人情報取り扱いが過剰反応で自治会でも家族の構成が把握できなくなっています。たとえば、入学祝いや成人祝い高齢者の敬老祝いを配布するにしても、対象者の把握に苦労をしています。このことは、子どもたちやお年寄りの安心安全対策や地域防災対策にも少なからず影響が出ています。しかし、自治会の事業などに楽しく参加してもらうことにより、お年寄りはもちろん子どもたちの存在が確認できる地域活動に醸成していければと考えます。

編集後記

198号に続き、地域の伝統芸能を継承している子どもたちの活動を取材しました▼地域の伝統芸能を学校の部活動で取り組んでいる八女の黒木小学校の「人形浄瑠璃クラブ」を訪ねました▼少ない紙面で十分に伝えることは難しいですが、福岡県各地に素晴らしい伝統芸能があり、次世代に脈々と受け継がれていることに感動します▼「人形浄瑠璃クラブ」と前号の豊前「子ども神楽」に共通していることは伝統芸能継承に対する子どもたちの取り組み姿勢です▼強制でも義務感でもなく当たり前のように自然に受け入れ、楽しむ姿は地域の繋がりの強さと地元愛に尽きる気がします▼これからも福岡県各地の郷土芸能と子どもたちの関わりを紙面で紹介できればと思います▼次回はいよいよ200号記念号です。

青少年育成県民会議広報部会長 馬場 京子

青少年の健全育成のために

賛助会員入会のお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議は、少年の主張大会、野外学習、マラソン大会など、様々な活動を行っています。

県民会議では、賛助会員の募集を行っています。会費は左下のとおりです。電話(092-643-6001)をいただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

- 個人 1口 1,000円
- 法人又は団体 1口 15,000円
- 特別賛助会員 1口 50,000円

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。

西日本シティ銀行千代町支店(普通預金) 3053033
福岡銀行県庁内支店(普通預金) 526475
筑邦銀行福岡支店(普通預金) 1597091
福岡中央銀行本店(普通預金) 1030569
ゆうちょ銀行振替 01700-5-4057

この用紙は、森林資源保護のため再生紙を使っています。